



# 旧乾式5枚コンバージョンキット 取扱説明書

商品番号 : 00 02 0404

適応車種 : Monkey / Gorilla

適応条件 : 弊社製旧乾式(3枚クラッチディスク、オイルフィルター前方タイプ)装着車

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、適応条件の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

分解作業は上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行ってください。

雨天走行等でフリクションディスクに水がかかると、クラッチの滑りが生じクラッチが機能しなくなる可能性があります。雨天走行は出来る限り避けやむを得ない場合は、水たまり等を避けフリクションディスクに水がかからないように心がけて下さい。

フリクションディスク等に水分が付着すると腐食し、クラッチの機能を果たさなくなります。雨天走行、洗車等の後には、フリクションディスク、クラッチプレート等に付着した水分を必ず拭き取り、十分に乾燥させて下さい。また、梅雨等の湿気の多い時期の保管は、フリクションディスク、クラッチプレート等の貼り付きを防ぐためクラッチを切って保管して下さい。

この説明書やサービスマニュアルは、基本的な技能や知識を持っている人を対象としていますので、技能や知識を持っていない人が作業を行なった場合、正しく組み付け出来ない場合があり、部品を破損させる場合がありますので、ご注意ください。

急なクラッチの接続は、クラッチやミッションに大きな負担をかけ、破損に繋がる為避けて下さい。

## ～特徴～

- ・弊社製乾式クラッチ(3枚クラッチディスク、オイルフィルター前方タイプ)を現行と同じ5枚式クラッチディスクへのコンバージョンキット。
- ・プライマリードリブンギアのダンパー数を6個にしている為、旧タイプに比べバックとトルク時等のショックを低減しております。
- ・クラッチアウターはアルミ鋳造製からアルミダイカスト製に変更し、耐久性及び強度アップを図っております。



### 注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
(部品の脱落の原因となります。)



### 警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。)
- ・乾式クラッチは、クラッチアウター等の回転部分がかバーの隙間から触れる事が出来ます。エンジン回転中は絶対に覗き込んだり、触れたりしないで下さい。又、車両に乗られる場合は、足等を保護し、クラッチの回転部分に巻き込まれないような服装をして下さい。  
(転倒等の事故、ケガ、火傷の原因となります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適當な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
(事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

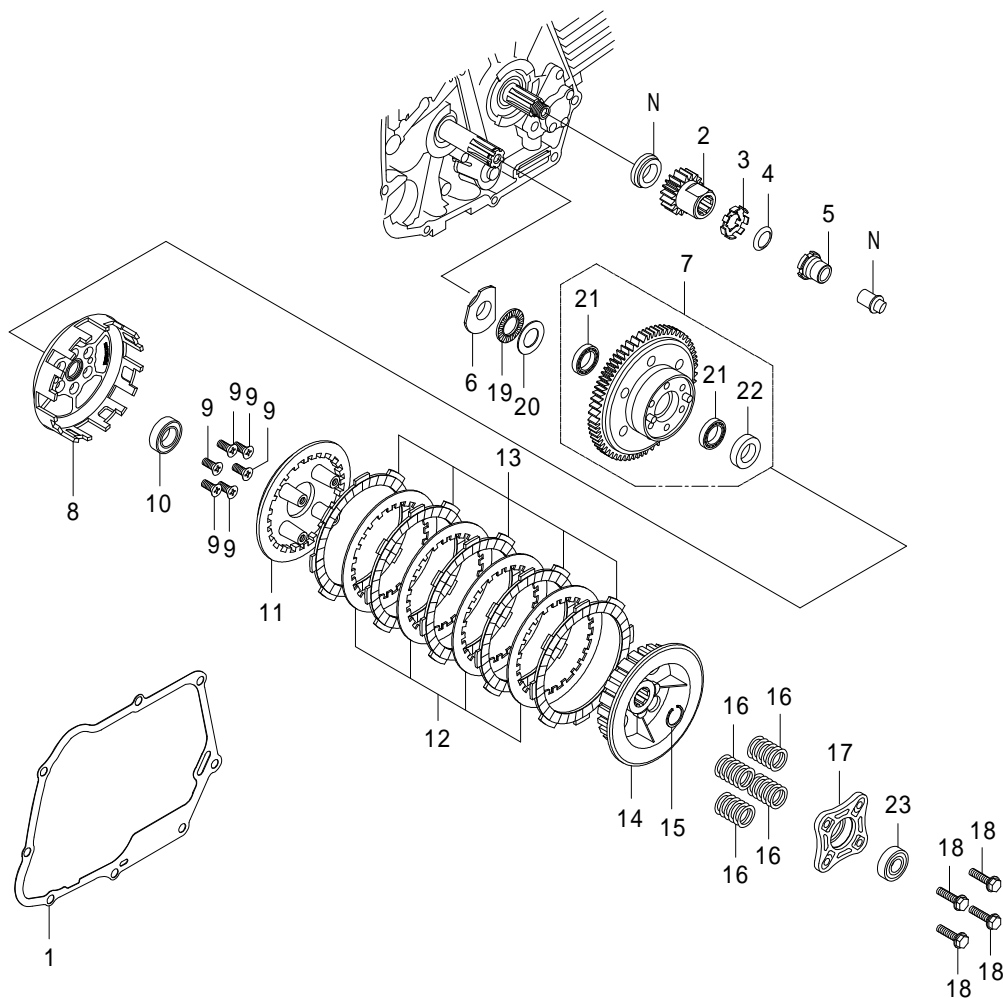
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## ～クラッチ構成内容～



Nマークは、純正部品を使用

番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	R.クランクケースカバーガスケット	1	00 01 0095	1
2	プライマリドライブギア(18T)	1	23121 181 T01	1
3	ロックワッシャ	1	00 01 0098	1
4	コニカルスプリングワッシャ	1	00 02 0036	1
5	ロックナット	1	90232 181 T00	1
6	ベアリングシート	1	22301 181 T00	1
7	プライマリードライブギア COMP.(67T)	1	00 02 0071	1
8	クラッチアウター	1	00 02 0351	1
9	フラットヘッドスクリュー 6×15	6	00 00 0031	5
10	シールベアリング 6903	1	00 00 0035	1
11	クラッチプレッシャープレート	1	22350 KRL T20	1
12	クラッチプレート	4	00 02 0029	1
13	クラッチフリクションディスク(ケブラー)	5	02 02 0003	5
14	クラッチセンター	1	22120 165 T10	1
15	エキスターナルサークリップ 17mm	1	00 02 0005	5
16	クラッチスプリング	4	22401 181 T00	1
17	クラッチリフタープレート	1	22361 GEY T10	1
18	フランジ六角ボルト 6×22	4	00 02 0098	4
19	スラストベアリング	1	00 02 0061	1
20	スラストワッシャ	1	00 02 0060	1
21	ボールベアリング 6803	2	00 00 0024	1
22	オイルシール 17×28×7	1	00 02 0020	1
23	シールドベアリング 6001	1	00 00 0026	1

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

## ～取 り 付 け 要 領～

車両をメンテナンススタンド等で安定させます。  
エンジンオイルを抜き取り、クラッチカバーとクラッチの内部部品を取り外します。

クラッチカバーは再使用しますので、オイルシール等の点検が必要な部品は損傷を確認し、必要であれば新品に交換して下さい。

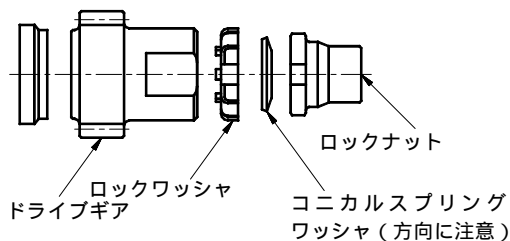
また使用する純正部品についてもサービスマニュアルを参照に点検し、必要であれば新品に交換して下さい。

### (プライマリーギアの組み付け)

1. クランクシャフトにSTD のカラーを入れ、次にプライマリドライブギア、ロックワッシャ、コニカルスプリングワッシャの順に入れ、ロックナットで仮締めします。

ロックワッシャ、コニカルスプリングワッシャの方向に注意して下さい。

コニカルスプリングワッシャ内側の反り上がりがロックナット側になる様に組み付けます。



2. トランスミッションメインシャフトにクラッチベアリングシートを差し込みます。

(ベアリングシートの突起部分がクランクケースに引っ掛かり回転しないようにして下さい。)

そして、メインシャフトにスラストベアリング、スラストワッシャの順に差し込みます。



3. プライマリードライブギアCOMP のボールベアリング部にエンジンオイルをオイルシール部にグリスを塗布し、メインシャフトに差し込みます。

プライマリードライブギアCOMP .



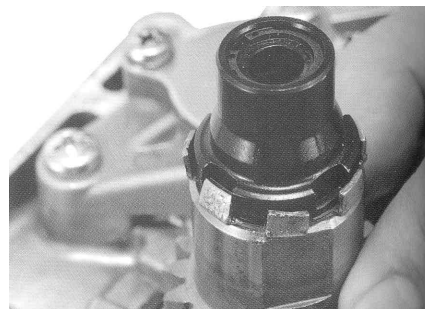
4. クランクシャフトの回り止めをした状態でロックナットを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

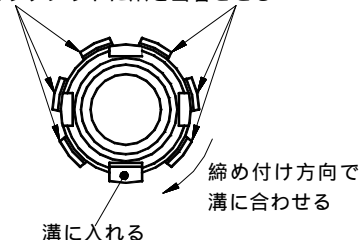
トルク：39 N・m (4.0 kgf・m)

ロックナットを規定トルクで締め付けた後、ロックワッシャの爪がロックナットの溝に合わないときは、ロックナットを締め付け方向に回して合わせて下さい。

残りのロックワッシャの爪は、ロックナットに完全に密着させて下さい。



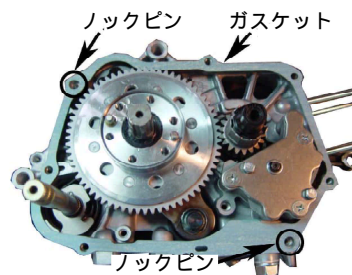
ロックナットに爪を密着させる



### (R .クランクケースカバー取り付け)

1. ケース合わせ面を脱脂し、ノックピン2本とR .クランクケースカバーガスケットをクランクケースに取り付けます。

R .クランクケースカバーのオイルシールのリップ部にグリスを塗布します。



2. R .クランクケースカバーCOMP のオイルシールを取り付けます。キャップスクリューでクランクケースに仮締めし、ケース中央から外側へと対角に規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



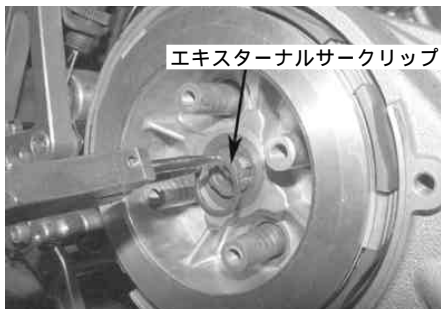
## (クラッチ取り付け)

1. メインシャフト部にクラッチアウターをノックピンに合わせて入れ、フラットヘッドスクルーで仮止めをした後に対角方向に規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

2. メインシャフト部にシールベアリングを取り付けます。
3. クラッチセンターにクラッチプレート、クラッチディスクを交互に取り付けます。  
クラッチプレートに油分が残っていると滑りの原因となるので、よく脱脂して下さい。  
クラッチセンターとクラッチプレッシャープレートが噛み合っている事を確認して下さい。
4. クラッチプレッシャープレートのボス部を持ち、クラッチフリクションディスクの突起部とクラッチアウターの溝を合わせ同時にクラッチセンターとメインシャフトのスプラインを合わせて挿入します。
5. 付属のエキスターナルサークリップをメインシャフトの溝部に取り付けます。サークリップは、角のある方を外側にして下さい。  
エキスターナルサークリップは、必要以上に広げないで下さい。  
エキスターナルサークリップがメインシャフトの溝部に入りにくい場合は、メインシャフトをニードルノーズプライヤー等で引っ張りながら作業を行って下さい。



6. クラッチプレッシャープレートのボス部分にクラッチスプリングを取り付けます。



7. クラッチリフタープレートのベアリング面を外側にしてフランジ6角ボルト6×2.2を取り付け、手でいっぱいまで締め付けます。  
クラッチリフタープレートを手前に引っ張りフリクションディスクに隙間が出来るときは、クラッチセンターとクラッチプレッシャープレートの噛み合わせがずれていますので、クラッチリフタープレートを少しだけ左右に回転させクラッチセンターとクラッチプレッシャープレートを噛み合わせます。噛み合った状態で、クラッチリフタープレートを手前に引っ張りながらフランジ6角ボルト6×2.2を対角に徐々に締め付け、最後に規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

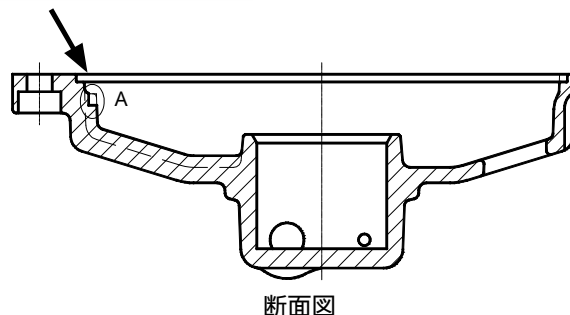
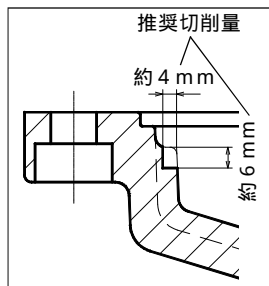
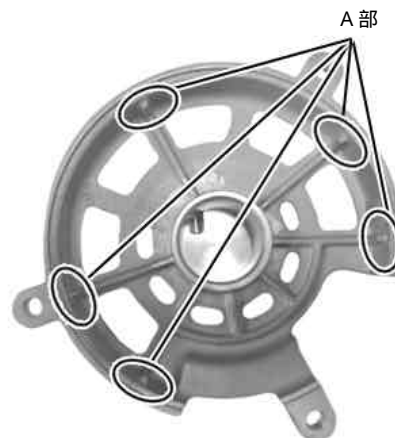
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

クラッチスプリングがずれない様に作業して下さい。



## 油圧クラッチカバーの場合

8. クラッチカバーの裏面箇所(A部)とクラッチアウターが干渉する可能性があります。  
干渉が確認出来た場合は、必ず干渉箇所を削ってから使用して下さい。



断面図

9. 乾式クラッチキットの説明書を参考に、クラッチカバーを取り付けて下さい。  
クラッチリフターロッドでクラッチ調整を行って下さい。  
エンジンオイルの入れ忘れにご注意下さい。

### (組み付け後の点検)

1. エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトしクラッチレバーを握ります。  
車両を動かした際リアホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しないことを確認して下さい。
2. トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速度の走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>